

令和8年度第1回堺市中区政策会議学生部会 報告

Q.区役所が情報を発信する場合、特にどのようなコンテンツについて、どのようなツールを利用して情報発信していくことが効果的でしょうか。

【① イベント情報】

- ・イベントに参加される方でも、子育てをしている方と高齢者の方では情報発信の手法が変わると思う。こども向けや子育て関係のイベントはホームページやSNSで情報を発信し、健康や福祉など高齢者向けのイベントは紙媒体の広報紙やチラシに情報を掲載するなど、対象者によって発信媒体を変えることが効果的だと思う。
- ・普段からインターネットで「イベント情報」と検索して、イベント一覧から参加したいイベントを探すことが多いので、区役所で実施予定のすべてのイベントが一覧で見れるページがあると良い。

【② 防災に関する情報】

- ・防災に関する情報は、停電時などいざというときにパッと手元で見れるように紙媒体で発信する方が良い。

【③ 区役所の事業や手続き、その他区政情報】

- ・大阪公立大学になってからアプリができ、休講情報や学校でのイベントのことなど1つのツールに集約され、アプリを見れば大学の情報が分かるようになり、便利である。また、アプリ内にチャットボット（AI）もあり、知りたいことをすぐに簡単に調べることができるようになった。区役所においても、ホームページを見ればすべての情報が得られるようにすることや、チャットボットを導入することも良いと思う。

【④ その他】

（中区长Xについて）

- ・中区长Xを初めて見たが、発信内容が少し堅い印象を受けた。例えば、区長の今日のお昼ご飯やおすすめスポットの紹介など、もう少し親近感が湧く発信があると、他の発信も見ようと思うきっかけになると思う。

（広報紙について）

- ・情報量が多く、自分に関係のある情報がどこにあるのかすべてに目を通さないとわからない。〇〇がすき/きらいで矢印を進んでいけば必要な情報にたどり着くなど紙面の作り方を工夫することや、若い世代は情報を自分で探す力があるので、調べた先の情報の充実を図るべきだと思う。広報紙には、どこから探していけばいいかをリードするような情報を掲載すると良い。高齢者には伝わりやすい情報、若い世代にはキャッチしやすい情報を発信することが効果的だと思う。